

**「エイブルアート・オンステージ」日英共同企画
「飛び石プロジェクト」公演の開催について**

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 松尾 憲治）は、社会貢献事業として、障害のある人たちとアーティストが出会いコラボレートすることにより、これまでにない表現や舞台作品づくりをめざす「エイブルアート・オンステージ」を実施しています。

今般、当事業で実施している3つのプログラム※のうちの1つ「飛び石プロジェクト」における日英共同企画の公演を2007年10月12日～14日にかけて開催します。

今回の「飛び石プロジェクト」では、イギリスからプロの演出家2人が、2006年より繰り返し（飛び石を置くように）来日し、ワークショップを通じて選ばれた日本の出演者とともに、さまざまな表現手段を組み合わせ、これまでの演劇の常識を揺さぶる2作品『Stepping Stones』・『血の婚礼』を創り上げました。

※3つのプログラムの詳細は、別紙2をご参照ください。

「エイブルアート・オンステージ」日英共同企画「飛び石プロジェクト」公演

1. 作品名

『Stepping Stones』（ステッピング ストーンズ） 演出：ジョン・パルマー
『血の婚礼』（Blood Wedding） 演出：ジェニー・シーレイ

※演出家のプロフィールについては、別紙1をご参照ください。

2. 日時

日程	開演時間
10月12日（金）※	19時00分（18時30分開場）
13日（土）※	14時00分（13時30分開場）
14日（日）	14時00分（13時30分開場）

上演時間：約2時間（2本立て、休憩あり）

※12日、13日は終演後、両演出家とゲストによるポストパフォーマンストークを開催します。

3. 会場

シアタートラム（東京都世田谷区太子堂4-1-1）

4. チケット料金（日時指定、全席自由）

（一般）前売・予約：2,800円、当日：3,300円

（割引※）前売・予約：1,800円、当日：2,300円

※ユース（25歳以下）、シニア（65歳以上）、障害のある方および介助の方（1名）は割引料金の対象となります。

5. 主催

明治安田生命保険相互会社、エイブル・アート・ジャパン

6. 提携

世田谷パブリックシアター

演出家プロフィール

ジョン・パルマー Jon Palmer

フルボディ・アンド・ザ・ヴォイス芸術監督

約10年の俳優活動を経て、1992年、知的障害のある子ども向けの劇団インタープレイ・シアター・カンパニーの芸術監督に就任。シェイクスピアの『テンペスト』を題材にした『Sea Changes』や、英国作家協会最優秀児童演劇賞を受けた『Stepping Stones』などの作品を演出。この時期から“インクルーシブ・シアター”の第一人者としても評価が高まる。

1998年、フルボディ・アンド・ザ・ヴォイスの芸術監督に就任。以後、全作品を演出。フランスやポルトガルでの海外ツアーも果たすと同時に、トレーニングプログラムやアウトリーチ活動を展開。知的障害のあるアーティストが自身の創作手段を探求できる機会を創ってきた。

フルボディ・アンド・ザ・ヴォイスはイギリス・ヨークシャー地方のハダスフィールドにあるローレンス・バトレイ劇場のレジデント・カンパニーで、知的障害のある俳優がプロとして所属している。

ジェニー・シーレイ Jenny Sealey

グレイアイ・シアター・カンパニー芸術監督

グレイアイ・シアター・カンパニーで、ろう者の俳優として8年間活動。その後、インタープレイ・シアター・カンパニーで演出を学ぶ。

1997年、芸術監督としてグレイアイ・シアター・カンパニーに戻り、高い芸術性とアクセシビリティの両方を追求するポリシーを掲げ、創作活動を開始。以後、全作品を演出。

代表的な演出作品として、ギリシア悲劇『トロイアの女』をベースにした『Peeling』、マーティン・シャーマンの『Bent』、サラ・ケインの『Blasted』が挙げられる。特に『Blasted』は、2006年のイギリス国内ツアーの後、2007年1月のロンドン公演のチケットはほぼ完売となり、批評家からも高い評価を得た。

グレイアイ・シアター・カンパニーは、ロンドンに拠点を持つ、身体障害のあるプロのアーティストによる劇団。その先駆的な活動は、イギリスのみならず、ヨーロッパにおいても高い評価を得ている。

「エイブルアート・オンステージ」は次の3つのプログラムの総称です

活動支援プログラム

- ・障害のある人が参加するさまざまな舞台芸術の取り組みに対して、上限150万円の支援金を提供するプログラムです。
- ・2004年から5年間の計画で、毎年6～8グループを支援しています。
- ・支援対象者は各地でグループを立ち上げ、参加者募集、ワークショップやレッスンを実施、地元での公演を行ないます。
- ・活動終了後はすべての支援先が集まる報告会で、活動のプロセスや作品の映像を発表します。

コラボ・シアター・フェスティバル

- ・エイブルアート・オンステージに参加したグループの成果を多くの人に伝え、次に続くグループへの課題を提示する場です。
- ・エイブルアート・オンステージ実行委員のアドバイス等をふまえて、地元公演で発表した作品のうちいくつかを、さらに発展させて上演したり、シンポジウムや展示などさまざまな方法で、各参加団体の成果を伝えます。
- ・ゲストや観客、新たに加わるスタッフとの意見交換などを通して、新しい舞台の在り方、創り方を共に考える場にもなります。

飛び石プロジェクト

- ・英国から2人の演出家を招き、さまざまな人たちとワークショップを通じて交流し、作品づくりを行なうコラボレーションプロジェクトです。
- ・2006年2月から約2年間かけて、2人の演出家が交互に8回の来日を重ね、飛び石を置くように東京とそれ以外の地域でワークショップを繰り返します。
- ・さまざまな障害のある人や俳優などアーティストの出会いや発見から、障害の有無や種別、言葉や文化の違いも越えて、演劇の新たな可能性を探り作品化に挑戦します。

実行委員：敬称略

木佐貫 邦子（舞踏家、桜美林大学准教授）

塚田 美紀（世田谷美術館学芸員）

永井 多恵子（財団法人せたがや文化財団理事）

野村 誠（作曲家）

平田 オリザ（劇作家、演出家、大阪大学コミュニケーションデザイン・センター教授）

吉野 さつき（ワークショップ・コーディネーター、アートマネージャー）

播磨 靖夫（エイブル・アート・ジャパン常務理事）

殿岡 裕章（明治安田生命保険相互会社常務執行役）

以上